



フリージアの管理について

収穫まで残り約2ヶ月となりました。病気葉をみつけたら直ちに抜き取り、予防として殺菌剤の撒布を行うなど圃場管理に気をつけましょう。

・フリージア（球根生産） 作型

月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
生育		定植期				抽台期	開花期		収穫期	集荷期	出荷期	
		<ul style="list-style-type: none"> ・定植後除草対策 ・定植前に木子の消毒をする。 ・ネダニ対策として農薬の撒布。 ・定植前に基肥撒布。 ・定植2〜3週間前に苦土石灰撒布。 			<ul style="list-style-type: none"> ・追肥は基本しないこととするが、必要とあらば培土時に行う。 ・本葉が2〜3毎程度出てきたら、倍土を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・病気葉を見つけたら直ちに抜き取りを行う。 ・予防として殺菌剤の撒布を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・摘花前には必ず病株、異品種の抜き取りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木子は消毒してから十分に乾燥させる。 ・茎葉、木子を除去し、広げて風乾する。 ・生産者間の自宅乾燥期間を統一する為に、極力5月20日までは掘り取る。 			

1. 栽培管理

①病株の抜き取り

葉に黄色の斑が入ったもの、ゆがんでねじれたもの、奇形、ウイルス病葉を見つけたら直ちに球根ごと抜き取ってください。(球根にウイルス等が残りそれが分球し繁殖します。)

②異品種の抜き取り

摘花：摘花前には、必ず病株・異品種の抜き取りを行い、その後摘花しましょう。

2. 収穫

①収穫時期

5月上旬～中旬に掘り取りましょう。

茎葉、木子を除去して広げて乾燥させてください。(木子は消毒してから十分に乾燥)

3. 病害虫

①モザイク病：アブラムシ類によって伝染します。発生株は除去しましょう。

②首腐病：汚染種球で伝染します。土壌中に残存するため伝染原となります。排水を良くし、発病株は土とともに除去しましょう。連作を避けましょう。

③球根腐敗病：汚染種球で伝染します。土壌中に残存するため伝染原となります。排水を良くし、発病株除去・焼却しましょう。連作を避けましょう。

④菌核病：地際部から腐敗し、生育不良となります。病斑部には微小な黒色小粒状の菌核を生じます。球根及び土壌伝染します。

⑤虫害：ネダニ・アザミウマ

